月形町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

月形町の公共交通は、路線バス等が運行しているが、郊外部は交通空白地域が多くあり、従前より高齢者等交通弱者の足の確保が課題となっている。また、町内を循環する交通は、スクールバス（3路線）のみであり、住民混乗も行っているが、登下校時の運行のため、帰路はハイヤーを利用するしかないなど、自家用車がない住民は生活面（買い物、病院等）で利用しにくい状況にある。

通学、通院、買い物等の目的で、札幌市や当別町方面へ通じる路線バス（当別月形線）と、岩見沢市方面へ通じる路線バス（月形線）は地域間幹線系統として、また、接続する月形浦臼間の路線バス（地域内フィーダー系統　月形浦臼線）は、浦臼方面から月形高校への通学や、車を運転できない高齢者等を中心に月形町立病院への通院など、生活に必要不可欠な交通である。

今後の人口減少・高齢化を踏まえて、利用促進を図りながら、上記の地域間幹線系統や地域内フィーダー系統を確保・維持し、住民の生活交通手段を存続させていくことを目的とする。

地域公共交通の現況

【路線バス】
・北海道中央バス(株)（月形線１路線）
・新篠津村営バス（１路線）
・(有)下段モータース（月形当別線１路線）
・美唄自動車学校(株)（月形浦臼線１路線）
【ハイヤー】
・アオヤナギ観光バス(株)（はーとハイヤー）
【スクールバス】
・スクールバス一般混乗（４路線）

協議会開催状況

令和２年５月２２日　第１回協議会を開催(文書)
〇予約運行型乗合交通の実証運行内容（案）
〇地域内フィーダー系統確保維持計画（案）
令和２年１０月３０日　第２回協議会を開催
〇地域公共交通確保維持改善事業の事業評価
〇予約運行型乗合交通の実証運行内容（案）

生活交通確保維持改善計画の目標

【月形・浦臼間の平日利用者数】
R2年度（R2．４．１～R2．９．30）目標値：平日利用者数37人／日

令和２年度事業概要

月形浦臼線　浦臼駅～札比内駅前～月形駅　主系統１９．５km、副系統１８．７km（朝の1便を月形高校生用に副系統を設定）
１日５往復１０便　無休

【車両減価償却費等国庫補助】
月形浦臼線は新規に運行を開始する路線であり、当該路線を運行するための車両を手当てすることができないため、新たにワゴン車両（１４人乗り）を１台導入する

令和２年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

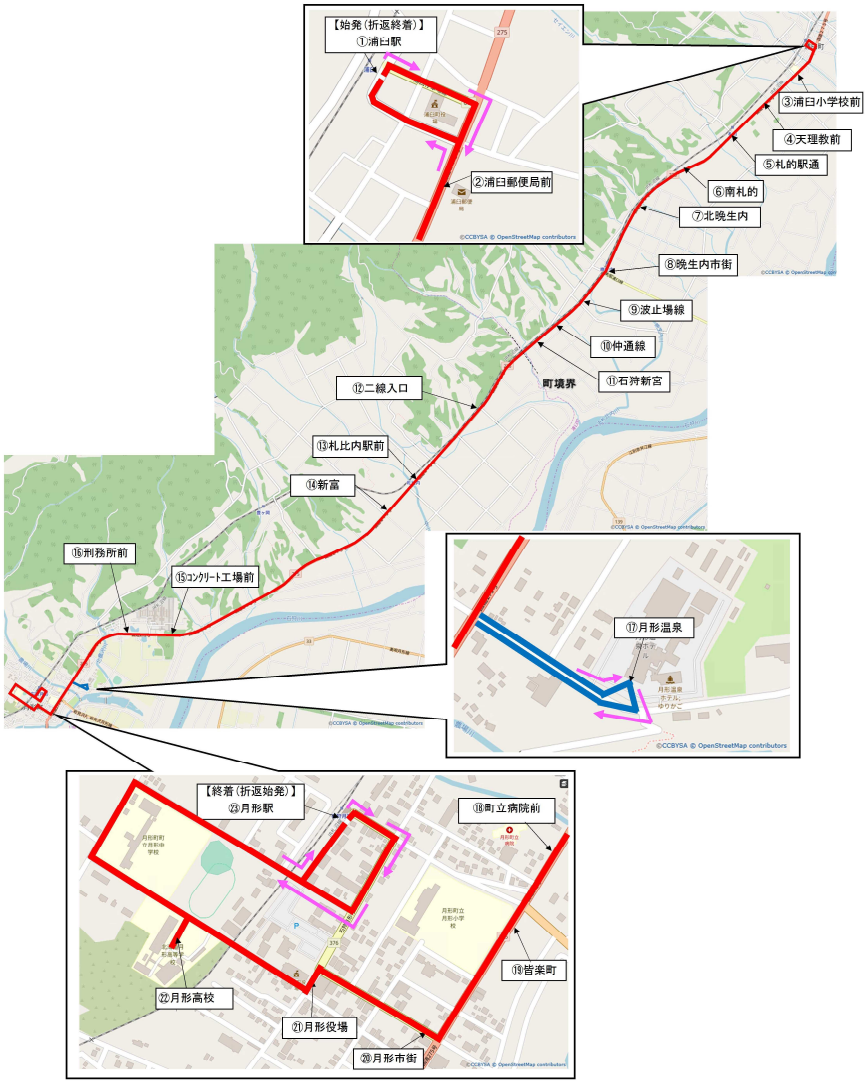
〇プロセス
- 平成31年　４月
  月形町地域公共交通網形成計画（2019年度～2023年度）を作成。
- 令和　２年　４月
  本運行系統の運行開始。

〇創意工夫
- 北海道医療大学にて、JRへの乗り継ぎができるよう、本運行系統と、月形～北海道医療大学間を運行する月形当別線との乗り継ぎがスムーズになるよう時刻を設定した。

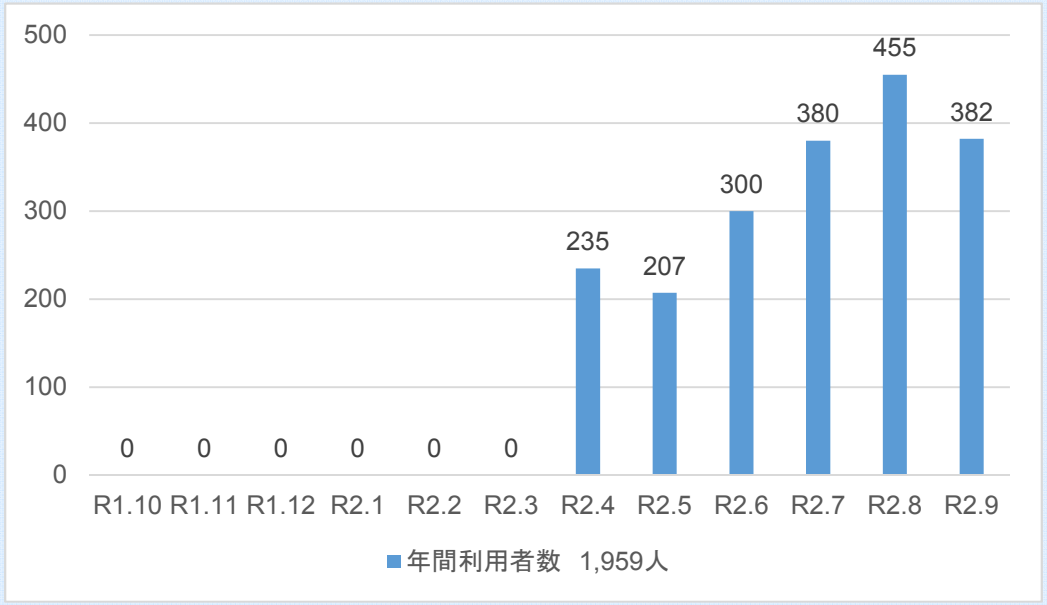
２）運行系統

月形浦臼線　全体路線図

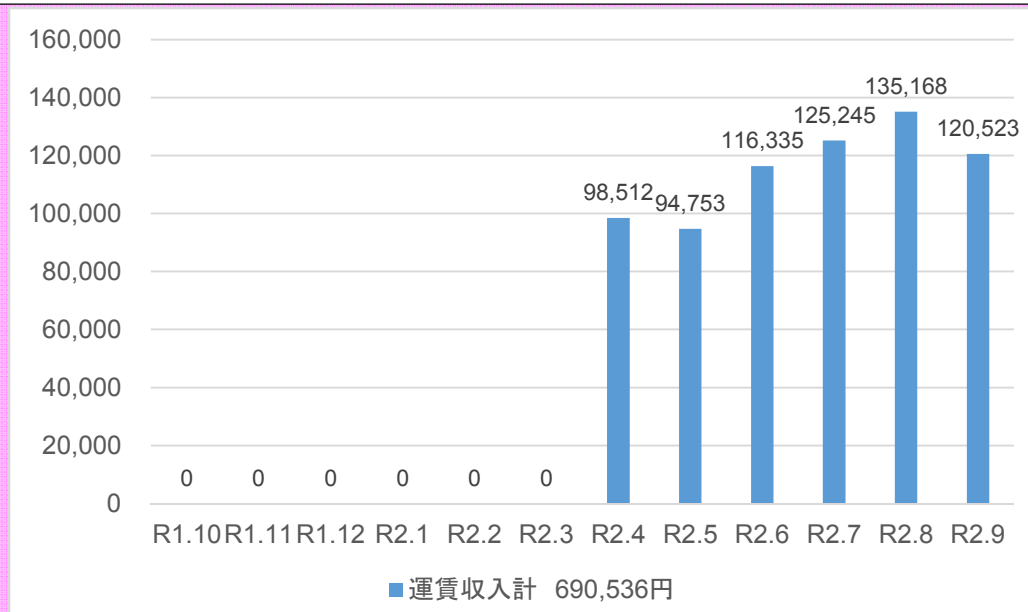
主系統　温泉経由便（19.5km）：赤線⇔青線⇔赤線のルート
副系統　早朝便（18.7km）：赤線のみのルート（朝７時30分発の「浦臼駅発～月形駅行き」の便のみ、月形高校通学用として月形温泉を経由しないショートカットのルート）



３）利用実績


500
400
300
200
100
0
0 0 0 0 0 0 235 207 300 380 455 382
R1.10 R1.11 R1.12 R2.1 R2.2 R2.3 R2.4 R2.5 R2.6 R2.7 R2.8 R2.9
年間利用者数　1,959人

４）収入実績


160,000
140,000
120,000
100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0
0 0 0 0 0 0 98,512 94,753 116,335 125,245 135,168 120,523
R1.10 R1.11 R1.12 R2.1 R2.2 R2.3 R2.4 R2.5 R2.6 R2.7 R2.8 R2.9
運賃収入計　690,536円

5）事業実施の適切性

〇JR札沼線の代替バスとして、計画どおり令和2年4月1日より運行開始することができた。
〇以下のとおり、計画どおり事業を実施した。
・利用しやすいバス路線とするため、バスマップの作成、HP、町広報誌などで周知を行った。
・町内会の集会や関係機関の会議時に、新たに運行していることや乗り方等について、説明を行った。

7）事業の今後の改善点

新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、地域の足となるようお試し乗車券を配布するなど、住民の利用促進を図る。

6）目標・効果達成状況

新型コロナウイルスの影響等もあり、平日輸送人員目標37人/日に対し、11人/日であった。

8）地方運輸局における二次評価結果

・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
・新型コロナウィルス感染症の影響等により、目標を達成することができなかったことはやむを得ない面があるものの、このままの利用水準では、補助対象外となってしまう可能性もあるため、利用者ニーズのくみ上げを行い、さらなる利用促進の取組を行っていただくとともに、利用者ニーズに合わせた運行形態の検討も必要である。
・今後も持続可能な事業となるよう、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。

別添2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和 3年 3月 31日

北海道運輸局

評価対象事業名：令和2年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
月形町地域公共交通活性化協議会	株式会社美唄自動車学校	月形浦臼線 浦臼駅～札比内駅前～月形駅 【車両減価償却費等国庫補助】	（新規）	A	B	新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、地域の足となるようお試し乗車券を配布するなど、住民の利用促進を図る。	・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。 ・新型コロナウィルス感染症の影響等により、目標を達成することができなかったことはやむを得ない面があるものの、このままの利用水準では、補助対象外となってしまう可能性もあるため、利用者ニーズのくみ上げを行い、さらなる利用促進の取組を行っていただくとともに、利用者ニーズに合わせた運行形態の検討も必要である。 ・今後も持続可能な事業となるよう、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。	